

2025年の万博がわかるフリーぺーぺー創刊！

TAKE FREE - KO

開催地決定まで、あと少し。

読者のみなさま、ありがとうございました。

よく考えると、僕たちは万博のことをあまり知らなかつた。人類史上、最大イベント『万国博覧会』／70大阪万博と'05愛・地球博ってどうだつた？教えて、えらい人！EXPO2025つて？／2025年大阪・関西万博（仮）開催概要／11月23日、開催地決定。開催を狙う、3ヶ国。／万博ってどうでしょう？大調査／これまでの誘致活動と、私たちができること。／Expecting EXPO 関西のクリエイターが期待する万博

ロケ地：夢洲万博開催予定地

万
博

日本
國
博
覽
會
EXPO
2025
Japan
National
Exposition

ぎりぎりまでぼーっとしていて、すみませんでした。

どうやら、2025年の大阪・関西万博誘致活動が大詰めらしい。

いつも通りの毎日。いつも通りの毎日。

だといふのに、この街は平熱を保ったままだ。

万博が話題に上がることなんてない。

別に、大阪や日本に住んでいるからといって、万博誘致を応援しなければいけない、なんてことはないだろう。

だからといって、無関心のまま、何も知らない今までいい、とも思えない。知らないままじゃ、応援も反対もできない。

まずは知ること。それが大切なことなんじゃないだろうか。

私は、関西を拠点に活動する企画・デザインの企業です。多くの人々にものごとを広く伝える、表現とコミュニケーションを生業にしています。

そんな私たちが、万博誘致活動のことを広く、公平に、そしてなにより、楽しく伝えられたら。

この街は、どう変わっていくんだろう。開催を楽しみに思うひとが増えるかもしれない。ちゃんと意見を持って、問題点を洗い出すひともいるかもしれない。

そんな気持ちで、頼まれてもいいのにつくったものが、この「はじめて万博」です。

これまでの誘致活動のこと、そして2025年の万博のこと。無関心だったひとが、初めて万博を「知る」ことができる冊子です。

この冊子の後半には少しだけ、万博への期待を込めた提案を入れてみました。私たちのアイデアとデザインで、2025年の万博を表現しています。

「はじめて万博」、どうぞお楽しみください。

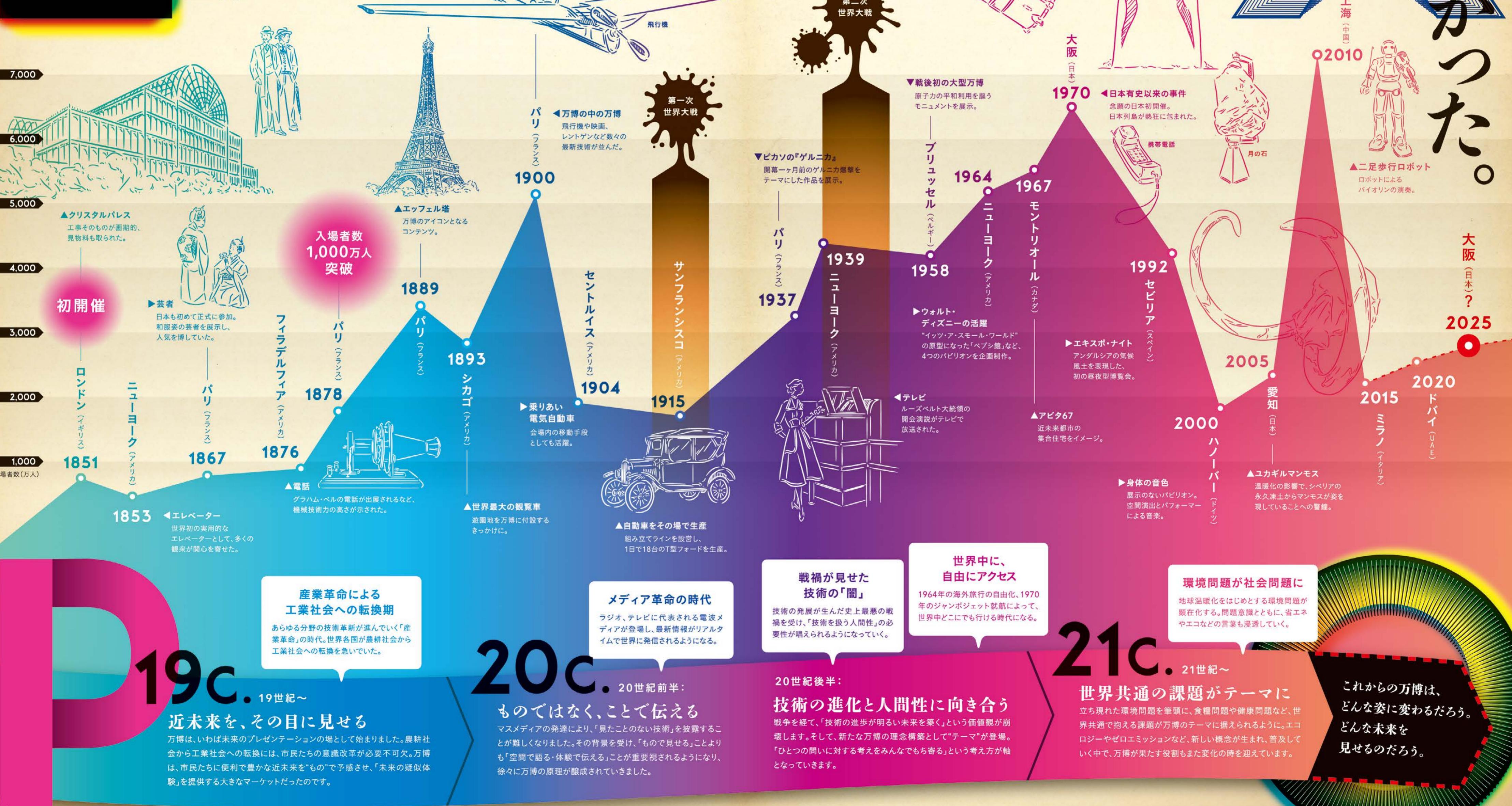
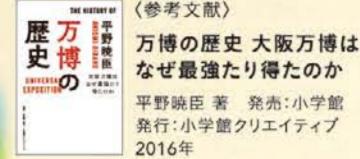
BY THREE inc.
株式会社人間

- 04 よく考えると、彼らは万博のことをあまり知らなかった。
人類史上、最大イベント「万国博覧会」
- 06 '70大阪万博と'05愛・地球博ってどうだった?
- 08 教えて、えらい人! EXPO 2025って?
- 10 2025年 大阪・関西万博(仮)開催概要
- 12 11月23日、開催地決定。開催を狙う、3ヶ国。
- 14 万博ってどうでしょう? 大調査
- 16 これまでの誘致活動と、私たちができること。
- 17 Expecting EXPO
関西のクリエイターが期待する万博
- 23 編集後記

よく考えると、僕たちは万博のことあまり知らないかつた。

万博って、いつからはじまったんだろう。そもそも、何をするためのイベントなんだろう。なんとなく知っているつもりでいたけれど、僕は万博のことを、ぜんぜん知らない今まで生きてきた。でもせっかく、大阪に来るかもしれないなら、ちょっとは勉強しておこうという気にもなる。これまで万博が歩んできた167年を、振り返ってみよう。

※現在も残る建造物や革新的な技術などが登場した万博をピックアップしています。
※イラストはイメージです。



もう一度、あの
時代が来てほしい。
それくらい日本が輝いていました。

私が万博に関わり始めたのは、開催前の1968年から。エスコートガイドに選んでいただいて、国賓の方のご案内やPR活動に取り組んでいたんです。テレビ番組にも出演したり、新聞にも何度も取り上げていただいたらしくて。振り返ると、それだけ日本が盛り上がっていたんだなと思います。

現在は帽子ブランド「マキシム」の代表取締役として、万博と関わり続けている。

「大阪万博」で、国賓をもてなす
エスコートガイドを務めた
渡邊百合さん

INTERVIEW WITH
WATANABE

日本人が、初めて世界の広さを知った瞬間

会期中も、多くのV.I.Pを
ご案内しましたよ。

本当に刺激的な毎日で、機会があるのなら、もう一度やってみたいと思うくらい!当時、万博は「誰でも行ける世界旅行」と言われていたけれど、本当にその通りだったと思いますよ。日本人が、初めて世界の広さを知った瞬間でした。私は、その万博でみなさまをご案内させてもらっていたのだから、贅沢な時間だったなと思います。

ちょうどその頃に付き合いはじめた方と万博終了後に結婚したんです。その彼の親が、タイムカプセルに収藏された記念の帽子などをつくっている会社の経営者だというから、驚きました(笑)。今でも私が引き継いで、その後の海外の万博でも日本館の帽子をつくっています。不思議な縁ですよね。だから、2025年の万博が大阪に決まつたら、ぜひなにか携わりたいですね!7年後の目標ができると嬉しいです。

うちの店は、もともと曾祖父がロシアのハバロフスクで創業した会社で、こぐまのミーシャといったソビエトの雑貨なんかも扱っています。日本に目を向けると、大阪万博のグッズは種類が豊富で、プロダクトとしていいものが多い。なにより僕が好きなので、15年ほど前から大阪万博のグッズを扱うようになりました。ソ連館で使っていた椅子やコンパニオンが着いた大阪万博のグッズを扱うようになりました。

竹内登さん

大阪万博を期待する
さまざまなお土産を扱う
竹内登さん

大阪・南船場にある大阪農林会館で、
中心にしたショップ「日本極東貿易」を経営。数多くの大阪万博商品も取り扱い。土産や特物をはじめ、出展している

大阪万博 グッズは プロダクト として良い

The image is a collage of various items from the 1970 Osaka Expo. It features a large, stylized graphic in the center reading '10大' (Top 10). To the left, there's a bottle of Suntory Whisky with a label that says 'very rare old' and 'in commemoration of EXPO '70'. Below the bottle, there's a display of traditional Japanese figurines (Noh masks) in front of a shop window. In the background, there are more bottles and what appears to be a poster or banner for the 'OSAKA EXPO '70'.

私は、すごい行列して入りましたよ。月の石はただの石でしたけど。父がホテルに勤めていたこともあるって、積極的に外国のパリオノを見させて、がんばって巡りました。ニュージーランド館でラム肉を食べたのも覚えてる。

大阪万博が終わった後のエキスポランドには何回か行つたけどな。ダイダラザウルスとか。

5つのコースがあって、5台同時に発車するジェットコースター、私も乗りました。もう一度、大阪で万博が開催されるなら、また夢の国を見せてほしい。ワクワクを期待してしまいますね、いくつになつても(笑)。

Aーとかの技術にしても日進月歩で進歩してみてしょ。2年後にどうなつてゐるのか想像がつかないですね。何を見せるのか・宇宙の生物とか捕まえてきたういふ笑。もつ少しリアリティある話でいえば、深海生物とか。生きているダイオウイカとかね。

地図上にも行ったことないところがあるから、そんなのは見てみたいですね。

The 2005 World Exposition, Aichi, Japan

A collage of images featuring a man smiling, a woman, and various text elements like "BE GOOD" and "CAFE".

A woman with blonde hair is laughing heartily, her head tilted back. In the foreground, another woman with blonde hair is smiling and holding a small white container with a yellow lid. They appear to be in a bright, airy room with large windows.

「大坂万博には決して行かなかつた
日本有史さん

「大坂万博」開催時は、高砂市在住の中学生。
立場を表明。2025年の万博にも反対の立場を表明。

「コピーライタークリエイティブディレクター」
大阪方博のときは中学生。友達は行つてたけど、僕は誘われても
いや、行けへんわって、とにかく会場で大変な行列が並いてるのに
テレビでも見てたので、なんとかさわぎそんな複雑しそうなところに
行かなあかんねんって思つてました。並ぶのは絶対嫌、今も変わらぬ
い、人は人、自分は自分なんですよ笑。その頃、住んでいたのが兵庫
県高砂市。兵庫に行くのは、たまに、たまに、たまに、たまに、たまに。
阪まで行ったことは、万博の翌年、1972年にさすが阪急ファイブと
か、JR東海の駅が流れる阪急三番街に行った記憶はあります。

若い力を、思いつきり発揮してください！

7年後には、今日たくさん質問してくれた二人はもう18歳の成人です。私も今は万博を開催するために一生懸命やっていますが、もう引退しているかもしれません。」

「私が1970年の大阪万博に行った時は、二人と同じ11歳でした。初めて外国人の人と会って驚いたことを覚えています。すこし不思議な縁を感じますね。こちらこそ、よろしくお願いします。」

「わざわざ来てもらって、ありがとうございます。私は万博を運営する立場で、多くの人に万博を楽しんでほしいです。」

「私は、そのための場所を準備します。みんなの力で、万博をつくっていきましょう。よろしくお願いしますね。」

「ありがとうございます。あなたのアイデアや技術が中心になるでしょう。思いつきり創意工夫して、アイデアをたくさん出して、考えます。」

「私たちも、そのための場所を準備します。みんなの力で、万博を開催するため一生懸命やっていきます。」

「ありがとうございます。あなたのアイデアや技術が中心になるかもしれません。」

「私が1970年の大阪万博に参加したときも、若い人たちは、そのための場所を準備します。みんなの力で、万博を開催するため一生懸命やっていきます。」

「ありがとうございます。あなたのアイデアや技術が中心になるでしょう。思いつきり創意工夫して、アイデアをたくさん出して、考えます。」

「私は、そのための場所を準備します。みんなの力で、万博を開催するため一生懸命やっていきます。」

「ありがとうございます。あなたのアイデアや技術が中心になるかもしれません。」

「私が1970年の大阪万博に参加したときも、若い人たちは、そのための場所を準備します。みんなの力で、万博を開催するため一生懸命やっていきます。」

THEME

なんで、大阪で？ どうして、2025年に？

ちゃんと社会的な背景がありました。

超高齢化都市、

全国平均を大きく上回るスピードで高齢化が進む都市、大阪。大阪府人口ビジョンによると、2010年からの30年間で、府の人口の50%以上が高齢者になると予想されています。こうした変化は、たとえば社会保障経費の増大など、人々の生活にさまざまな影響を及ぼしていくでしょう。

大阪府では、これまでさまざまな取り組みを重ねてきました。しかし、この問題意識を広く共有する機会はありませんでした。だからこそ、民間企業・団体・大学・研究機関、さらには住民一人ひとりを巻き込み、全員で一丸となって課題に取り組む“きっかけ”が必要していました。特に全国ファーストクラスの「健康寿命」を延ばすことができる、個々人がいきいきと元気な活躍ながら、持続可能な社会保障制度を実現できるはずです。

※健康寿命…健康上に問題がない状態で日常生活を送ることができる期間。現在、平均寿命と健康寿命では約10年の差があると言われています。

さまざまな取り組みを効果的に加速化させていくためにも、世界的な潮流を踏まえることが重要になります。今の社会は「情報社会」と呼ばれていますが、近い未来「超スマート社会」と呼ばれる時代が到来しようとしています。AIやIoTなどの革新的な技術の登場と、その効果的な活用。医療や健康分野に限らず、ひとの暮らし、社会構造がより便利に、最適化されていくことが予想されます。つまりは、「高齢化」という問題をひとつ目の基盤にしつつ、革新的な技術を活用することで、日本、ひいては世界をより良い社会へと変えていくためのスタート地点として、万博を開こうと考えられたのです。

世界を変えるための、 17の目標。

では、ゴールはどこになるのでしょうか。2025年の万博が終わった後の社会。その指針として、

「SDGs」という国際目標を活用することになりました。社会全体が「持続可能な未来」のビジョンを共有するきっかけとして、高齢化という問題を抱える大阪で2025年に万博を開催することに意義があると考えされました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

SDGs 世界を変えるための17の目標

SDGsとは、「Sustainable Development Goals」の頭文字を取った言葉です。世界が合意した「持続可能な開発目標」として掲げられている17つの項目のことです。2030年までの達成をめざし、現在さまざまな分野で取り組みが本格化しています。

BACK GROUND

2025年 大阪・関西万博(仮)

開催概要

どんな万博になるのか全然知らなかったので、7年後の万博のことを調べておきました。

開催期間:2025年5月3日(土・祝)~11月3日(月・祝) 開催場所:夢洲(ゆめしま) 想定来場者数:2,800万人 経済効果:約2兆円

何をするの？ どこをめざしているの？

テーマとビジョンを読み解いていきます。

「いのち輝く未来社会のデザイン」 について。

こうした背景を受けて、当初は「人類の健康・長寿への挑戦」というテーマを掲げていました。しかし、実際にこれからの未来を築いていく若者や途上国の人々の心を集めるために、より広い内容を含むことができるテーマが良いのではないか、という議論が交わされました。そこで生まれたテーマが「いのち輝く未来社会のデザイン」です。

「未来社会」という言葉は、高齢化に際する健康・医療を中心に、食料・農業や、環境・エネルギー、防災、そして人やジェンダーの平等といった、現在世界各国が直面している課題を解決し、持続可能な社会・経済システムが構築された姿を指します。

「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマには、世界が抱える課題を解決し、一人ひとりがいきいきと生きる社会を実現しようという願いが込められています。生涯を通じて心身ともに健康で、それぞれの能力を活かして輝きながら暮らせることは、年齢や国、地域に関わらず、世界中すべての人々にとって共通の願いです。

VISION.1

未来の技術 がつくる、 健やかな毎日。

説明委員会ではテーマをもとに、3つのビジョンを描いています。そのひとつが、「健やかな生活」。誰もが生涯にわたって心身ともに健康で豊かな生活を実現することです。先述した通り、そう遠くない未来に「超スマート社会」が到来します。健康づくりや医療、ライフステージに応じた健康寿命延伸への取り組みに、AIやIoTなどの革新的な技術が活用されていくでしょう。たとえば、健康診断のビッグデータに基づく分析結果を活用する健康管理サービスが普及する方が考えられます。一人ひとりがそれぞれの心身の健康状況をもとに、日常的にアドバイスを受け、健康づくりに取り組める社会です。もちろん高齢者だけでなく、現状では健康に気が弱い若い世代も含めて、です。

健康と関わりの強い「食」にも、最先端技術が活用できるでしょう。一人ひとりの健康モニタリング結果に応じて、毎日献立メニューの提案がなされ、さらにはその献立に必要な食材が配達されるようなサービスも実現できます。

スポーツ分野でも、トレーニングの手法やチームの戦略分析などにAIが活用され、体験・競技の両方で楽しみの幅が広がっていくでしょう。

VISION.2

自分らしく、 生きる未来。

2つ目のビジョンは「活躍できる社会」です。一人ひとりのポテンシャルや個性を発揮し、自らが描くライフスタイル通りに活動できる社会を実現していきます。AIやIoT、ロボットが浸透すれば、創造性をより發揮しやすい分野に時間を費やすことができます。また、性別や年齢、障がいの有無に関わらず働きやすい環境が整備されたり、自動翻訳の高度化によって、言語の壁を越えたコミュニケーションも容易になったり、より自由に職業を選べる社会になっていくでしょう。

また、離れて暮らす家族ともVRを使って楽しい時間を共有できます。IoT技術を活用すれば、防犯や交通安全よりも高いレベルで整備され、子育てや高齢者の保護を地域レベルで協力して支援することができます。超スマート社会の到来によって、個々人が好きな場所で、好きな時間を生きることができるようになります。

ほかにも、自動走行車の普及、次世代住宅による家事負担の軽減など、安心で快適な暮らし、一人ひとりの活動を後押しする時代が訪れるでしょう。

VISION.3

産業が進化する。 暮らしが変わる。

最後のビジョンは、「未来を創る産業・イノベーション」。AIやIoTの活用によるイノベーションの促進が、世界中の人々の暮らしの質を向上させていく未来です。健康・医療に関するデータサイエンス分野の世界的な産業クラスターが形成され、新たな産業が生まれていくと考えられます。また、蓄電池をはじめとする新エネルギー産業の集積が一層進み、持続可能な社会を支える新技術の開発や社会実装が推進されます。AIやIoTによる省力化も合わせて、さまざまな産業分野が革新的な発展を遂げていくでしょう。

JOIN

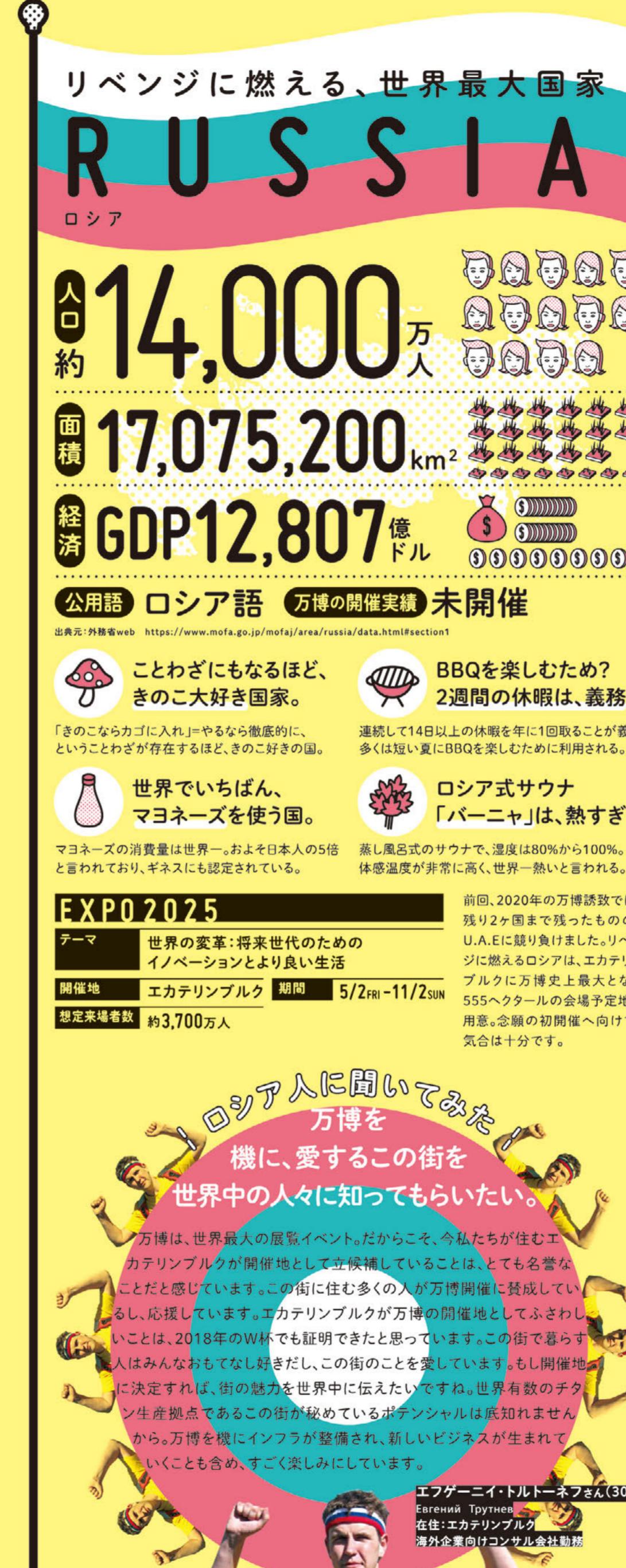
世界は、
若い力が
変えていく。

掲げられた3つのビジョンを達成していくためには、若いクリエーターたちの力が必要になるでしょう。全国でも類を見ない高齢化の一途を辿る大阪だからこそ、若い世代の主体的な取り組みを必要としています。2025年、大阪・関西万博を開催することができれば、医療をはじめとしたさまざまな分野で活躍する次世代のクリエーターたちが、世界に向けてその才能を発信できる場になるでしょう。そして、その世代がいきいきと個性を発揮できる社会こそが、「いのち輝く未来社会」なのです。だからこそ、大阪は万博に名乗りを上げ、真摯に説明活動に取り組んでいます。

開 催 候補 地 決 定。

11月23日(金・祝)開催地決定。

いま万博の候補地は、
3ヶ所に絞られている。
いったい、どんな国が
日本と競っているのだろう。
3ヶ国のデータや特徴、
そして現地の人の声を
まとめてみた。





フランス
誘致やめる
ってよ。
その本音。

Donation Reguronさん
〔ドナシャン・レギュロン〕
年齢:30歳、職業:ITコンサルタント 在住:パリ

フランス
2025年万博撤退の背景

2025年の万博誘致に参加していた国が、もうひとつあったことを知っているだろうか。それは、フランスである。過去6回の万博開催経験を誇り、21世紀に入つて初めての開催に向けて誘致活動も順調に進めていたはずだった。しかし、開催地決定まで1年を切った今年の2月に誘致辞退を発表。2023年にはラグビーW杯、2024年にはオリンピック開催を控えるなど、国際的なイベントに積極的なフランスに、いったい何があつたのか。会場予定地だった、パリの市民に聞いてみた。

けっきょく、
お金とテロだね。

やっぱり、お金の問題は大きいと思います。W杯やオリンピックと比べて、万博はあまり経済効果が期待できないからね。スポーツイベントとは違って、万博に興味があるのは富裕層くらいでしょう。あと、テロの心配があります。ここ数年でもいくつか事件が起こっているし、大規模なイベントが続くと正直、怖いですね。

日本でやるなら、
エヴァとかつくってほしい。

フランスが誘致を諦めたことは、残念だとも思っています。パリの人々はこんな生活をしているんだ、ということを、世界に共有するチャンスだったから。もし日本でやるなら、カルチャーを発信するために100mくらいのガンダムかゴジラ、エヴァンゲリオンの像でも建てたらどうだろう。きっとカッコいいと思うよ。

いま、市民ができる応援とは

ここまで、2025年の万博やその誘致活動についてさまざまな調査を行ってきました。それでは、これからのこととも考えてみましょう。たとえば私たちが「万博誘致を応援したい」と思ったとき、何ができるのでしょうか。

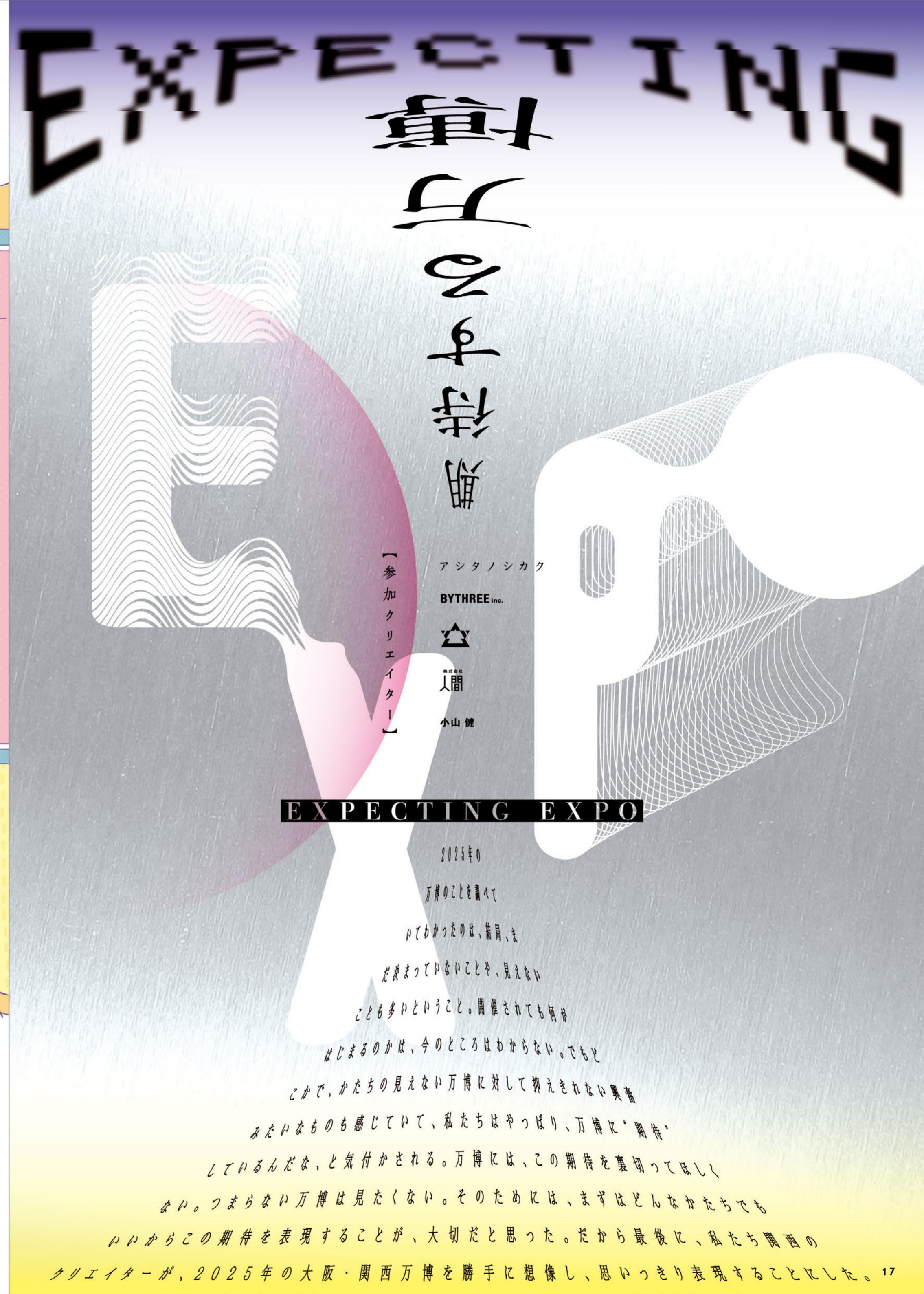
一市民がオフィシャルパートナーやオフィシャルサポーターになって、直接的に支援することは難しいでしょう。

でも、考え方次第で応援の姿勢を表現することはできるかもしれません。私たちにできることは、「万博の誘致を望み、盛り上がっていくこと」それを少しでも行動に変えていけばいいのではないでしょうか。

誘致委員会や民間の企業・団体の施策に参加することもひとつの応援です。自分たちでイベントを企画することもできるでしょう。

参考までに、これまでの万博の誘致活動を振り返るとともに、現状で私たちができることをまとめてみたいと思います。

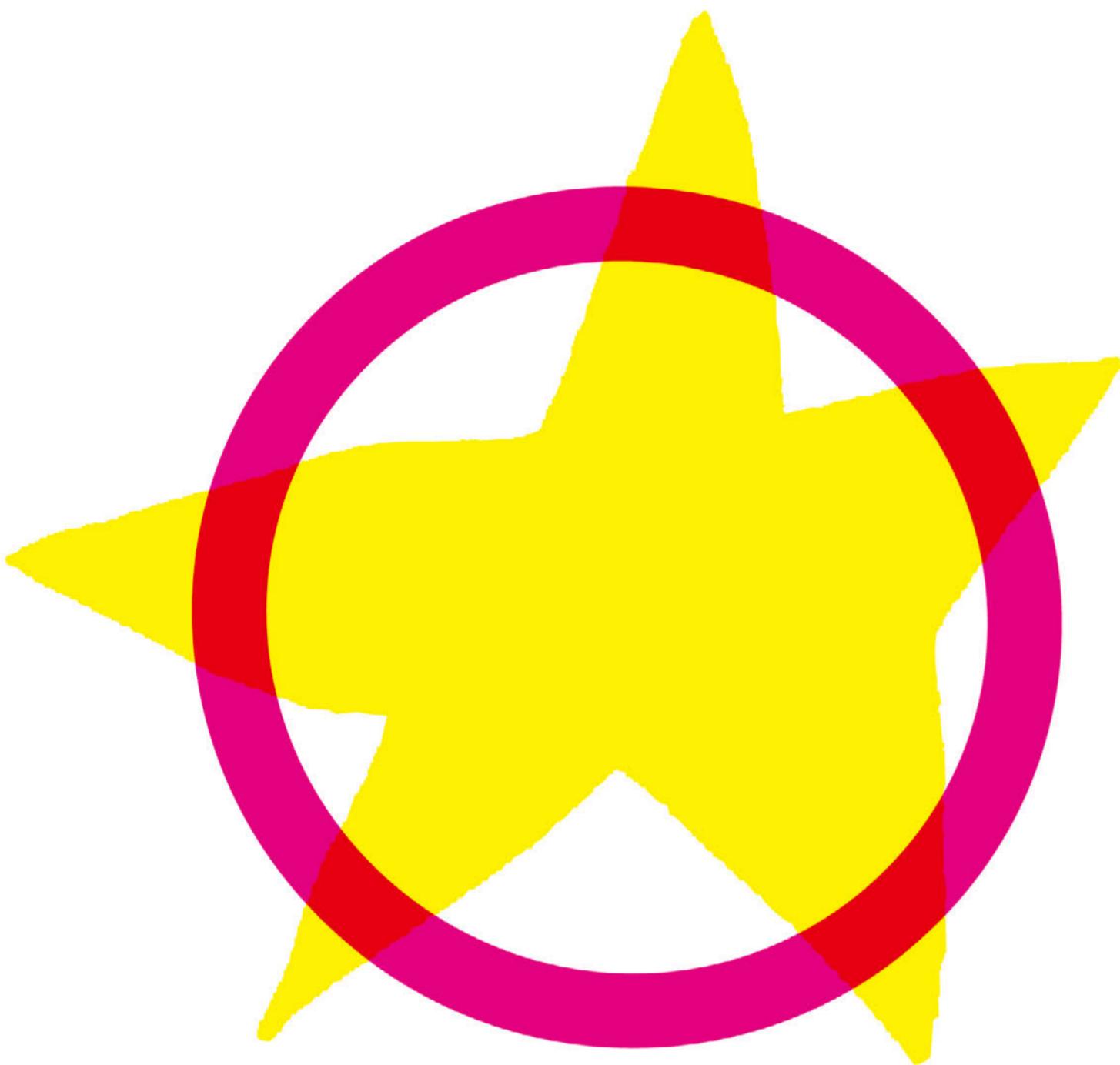
これまでの万博誘致活動と、私たちができ



THEME:

2025年大阪・関西万博のシンボルマーク

クリエイター：アシタノシカク



DESIGN SPIRIT

70年万博を資料で振り返ると、技術官僚的なユニット建築とブリミティブな太陽の塔が衝突しているところが、素晴らしく印象的だ。そのことが特別な万博として今も尚、語り継がれている根元ではとさえ思う。“万博”は「人類の進歩や未来社会の幸せ」をテーマとして避けられないとすれば、人はそのことにおいて相反する価値や要素に直面し、常に引き裂かれてきたのではないかと思う。新しい技術を常に求め発展しながら、一方で人間性を脅かされないか不安を感じる。文明的と原始的、理性と感情、エビデンスとナラティブ、科学的と神話的、理論と情緒、愛と憎しみ、甘いと辛い？とかとかを統合して調和していくのが未来の正解に違いない。けれどそれは少し時間がかかることだし、上手くいかず実験が必要。そこで今もそびえ立つ太陽の塔に耳を澄ましてみると、「相反する価値や要素を衝突させて輝かせる実験」が万博の機能としてふさわしい。そんな祭りにするべきだ。」という声が聞こえました…。シンボルマークデザインの造形は「コンピューターによる正円とドローイングの星」で「O」と「大」が重なり輝くものです。基本形がありつつも、星の部分は子供から大人まで関西の一人一人が描いたものに置き換えることで、大量のバリエーションを生みだします。カラーは輝く未来の祭りをイメージして、できる限り螢光色で再現する仕様。また、カラー設計やこのシンボルマークとバリエーションデザインの考え方の背景には、大阪という土地のモチアイデンティティへの思いも重ねました。大阪は日本の歴史上ずっとそこそこ栄えていた（古代の記述にも見てとれる）にもかかわらず日本の中で主役であったことは、ほんの少しあ無い。権力や威儀と距離がありつつも常に豊かで有り続けたことは、むしろ誇らしいんじゃないかなと思えてきたのです。つまり大阪という場所は歴史的にも“市井の活気”こそが本質に違いないとの思いから、誰もが参加したり描くことができる平たいデザインが相応しいと考え、カタチにしました。（大垣ガク）



アシタノシカク

アシタノシカク株式会社

“アシタノシカク”は視覚クリエイティブを核とした、“クリエイティブスタジオ”です。グラフィック・映像・プロダクト・空間デザインなど横断的にブリッジさせてブランド価値をつくります。芯のある企画とストーリー、強くふさわしいビジュアルコミュニケーションで効果を最大化する。それが持ち味です。また“クリエイティブルボ”としてASITA_ROOMを併設し、作家とのコラボレーションを多く実現しています。VI・ロゴの実績として、朝日放送、大阪チタン、京都水族館、関西テレビ、京セラエネルギー事業ブランドマーク、JR西日本 観光列車あめうつ等

THEME:

2025年大阪・関西万博のポスター

クリエイター：BYTHREE inc.

Be poster

1 Walking poster 散歩するポスター

対象年齢：60歳以上

事前にユーザー登録が必要



「ポスター」×「散歩」=「健康増進」

- 1 インターネットや市役所などでユーザー登録すると ano-pattern のユニフォームが届く。
- 2 空いている間にユニフォームを着用して散歩をすると、公園や住宅街を移動するポスターとして機能。
- 3 ユニフォーム付属のチップが自動的に散歩のデータを取得。
- 4 散歩の距離、時間帯、ルートに応じてポイントが付与される。貯まつたポイントは万博会場でのみ使える通貨になる。



[visual concept]



ano-pattern

3 Growing poster 育てるポスター

対象年齢：3歳～小学生



シードベーパー
植物の種を
すき込んだ紙。

「ポスター」×「園芸」=「生命を実感」

- 1 駅や学校に貼られたポスターについているシードベーパー(種)を切り取る。
- 2 自宅へ持ち帰り1ヶ月～半年間ほど、プランターで育てる。
- 3 開花直前にプランターごと万博会場へ持参すると、入場料金が割引になる。
- 4 プランターは、万博会場の指定の場所に置いていく。
- 5 子どもたちの育てた花が万博会場で花開き、ano-patternの立体的なポスターとなる。



BYTHREE inc.

株式会社バイスリー

大阪を拠点に活動するクリエイティブスタジオ。

ブランディングや広告・プロモーションツール制作、エディトリアルデザイン、Webサイト制作などを実行する。

媒体・表現手法にとらわれずコンセプトを築く「企画」と、適切かつバリエーション豊かな「デザイン」を得意とする。

自主的にさまざまなアートワークにも取り組み、表現の幅を広げ続けている。

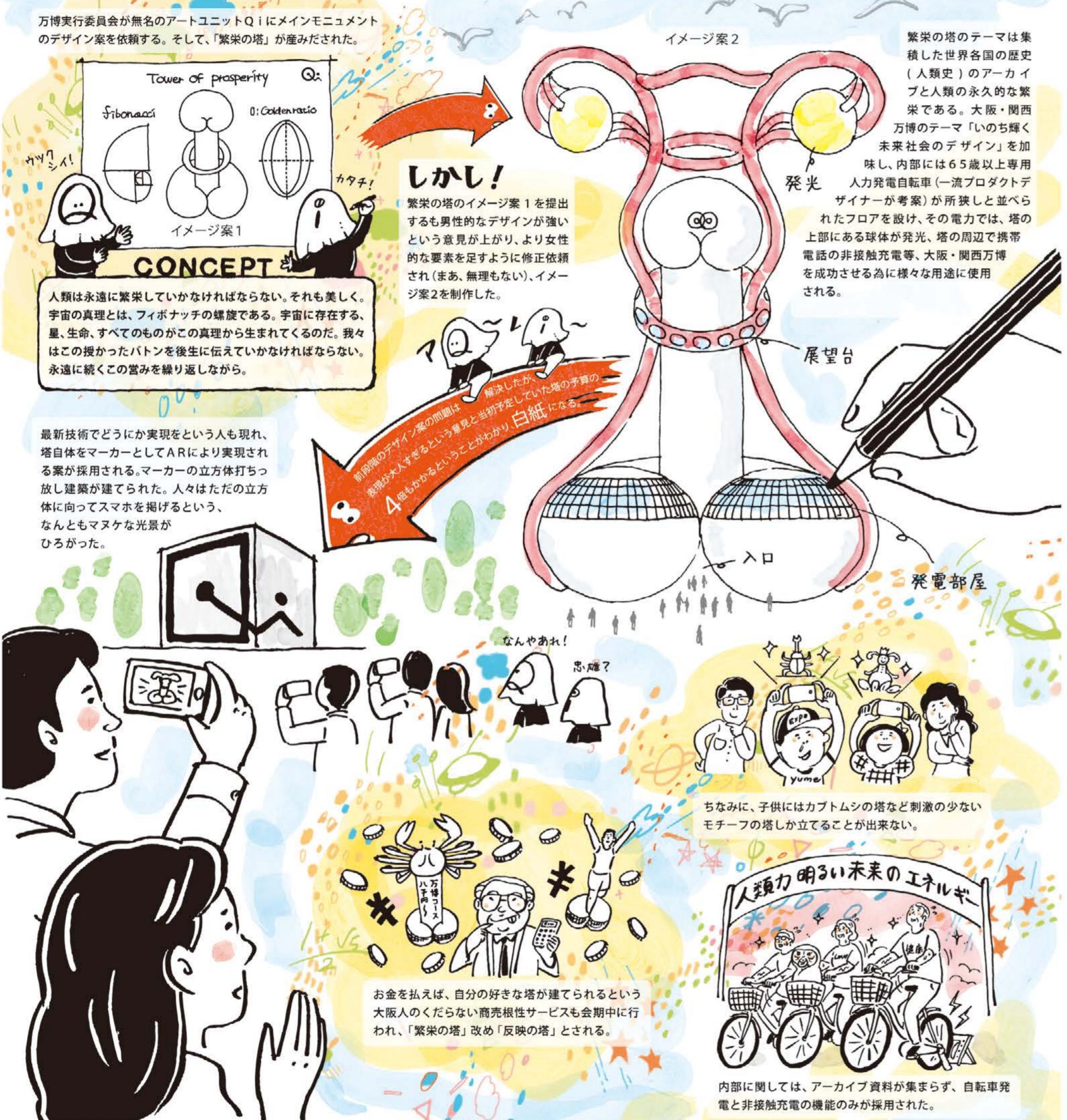
THEME:

2025年大阪・関西万博のモニュメント

クリエイター: Yotta 木崎公隆+酒谷星子

「繁栄の塔」

最近のオリンピックや万博などの国のお祭りごととされているものは、どうも胡散臭い。スポーツの祭典や人類の祭典ではなく、広告代理店、土建屋の祭典でしかない。誘致活動も含め、全くセンスが感じられない。税金を使って行うというのだから腹の奥に鈍い澁みを感じてしまう。今回はこんな万博のモニュメントの決まり方は嫌だの一例を考えてみた。2018年9月 Yotta 木崎公隆 + イラストレーター 酒谷星子



万博実行委員会が名無のアートユニットQにメインモニュメントのデザイン案を依頼する。そして、「繁栄の塔」が産みだされた。

人類は永遠に繁栄していかなければならない。それも美しく。宇宙の真理とは、フィボナッчиの螺旋である。宇宙に存在する、星、生命、すべてのものがこの真理から生まれてくるのだ。我々はこの授かたバトンを後生に伝えていかなければならない。永遠に続くこの命を繰り返しながら。

最新技術でどうにか実現をという人も現れ、塔自体をマーカーとしてARにより実現される案が採用される。マーカーの立方体打ち放し建築が建てられた。人々はただの立方体に向ってスマホを掲げるという、なんともマヌケな光景がひろがった。

お金払えば、自分の好きな塔が建てるという大阪人のくだらない商売根性サービスも会期中に行われ、「繁栄の塔」改め「反映の塔」とされる。

内部に関しては、アーカイブ資料が集まらず、自転車発電と非接触充電の機能のみが採用された。



Yotta 木崎公隆+酒谷星子

木崎公隆: 1979年生まれ。京都工芸繊維大学応用生物学科卒、IMIを経て2009年山脇弘道と金谷耕児と結成、アートユニットYotta Groove結成。2013年山脇と二人になりYottaに改名。2015年岡本太郎賞を受賞。数々の芸術祭や展示に参加する。
酒谷星子: 1988年生まれ。大阪デザイナー専門学校卒業。音頭をこよなく愛する踊って描けるイラストレーターとして、某広告制作会社につづめる。

THEME:

2025年大阪・関西万博のお土産

クリエイター: 株式会社人間

NINGEN WALKER TREND PICK UP

EXPO GOODS 2025

人類の
進歩と調和を
願うお土産
勢揃い!

**いいイベントには
「いいお土産」を
期待してまーす!**

見える化した体脂肪を嗜みしめよう

体脂肪クッキー

メタボが問題視される時代に甘いだけのお菓子なんて時代遅れ! 体脂肪で測った数値を元に、体脂肪率の比率で美味しい部分と不味い部分が分かれたクッキーを3Dプリンターで印座で生成します。「食べれば脂肪になる」という現実を嗜みしめましょう。 ¥1,580

歩けば漢字Tシャツ
漢字Tシャツ
Good KANJI!
伊太利亞
愛是越
瑞独英印巴
電子ペーパー×
室内位置情報



AIが作る土産話の台本
AIが考案てくれるのどんなん凡人でも安心です。会場中のカメラの映像からお客様の行動履歴を収集。過去30分の人の動きの台本を読み込まれたAIが思い出を予測し、笑って泣ける人が思はずを実現します。要は独り言しないように注意! ¥38,800

場所が余ったから…
没ネタもCHECK!

好きな年齢で記念写真…撮影した人物の年齢をスライダーで調節できる記念写真。一人ひとりなりたい年齢の顔になるので、おばあちゃんや孫でも同級生のような記念写真が残せます。○正しい未来へ導いてくれる帽子…行き先を意識すれば帽子のつぶの部分が行くべき方向へグレンと回る。まるで生きた帽子です。○専用VRで追体験…ご自宅の猫ちゃんにも万博を見てあげたいですよね。マジで開発されてる猫用VRで自宅の猫にも見ることができます。○内面キーホルダー…2025年の内蔵を永久保存しよう。スキヤンした内蔵を3Dプリントで出力してさまざまなグッズに持ち帰れます。

株式会社
人間

株式会社人間

株式会社人間は「面白くて変なことを考へている」をモットーに、ジャンルの枠にとらわれないアイデアをつくるWebコンテンツ制作会社。キャンペーン、グラフィック、イベントなど大手企業の広告や、企業や商品のブランディング、Webメディアの運営や記事制作、水都大阪に関する事業やアートイベントのプロデュースなど、やりたいことはやってみる、やる気のある会社です。

妄想おみやげ特集

大阪・関西万博が開催される7年後まで妄想を広げて、ドラえもんのひみつ道具のようにワクワクするアイテムを紹介する雑誌の誌面を作成しました。

万博に行ったら必ず買うもの、それは「お土産」。普通のお土産はあるんでしょうか? EXPO'70の「人間洗濯機」みたいな夢のあるグッズを私たちは見たいのです。そこで「テクノロジー×お土産」をテーマに、もし実現したらなんかすごい2025年らしい妄想万博グッズを紹介します!

カリスマ薬局の共演で、心斎橋商店街を再現!



ドラッグまんじゅう

今、心斎橋で外国人向けに増え続いている「ドラッグストア」。インパウンド効果で絶好調なの業界が7年後には「健康の象徴」となっているに違いありません。お菓子ひとつひとつをドラッグストアを模したパッケージでつつみ、心斎橋商店街の現状を見事に再現。渾身いたくなれるにちがいない! ¥899

定番のお土産に真の味わいをプラス!



株式会社人間
山根シボルがレポート!

REPORTER

妄想の中で、私は2025年へ行って大阪・関西万博を見てきました。記憶力が悪いのであまり覚えてはいませんが、そこで売っていた驚くべき「お土産」を紹介します。

PHOTO:木村華子

万博のキャラクター 小山健



東京オリンピックのキャラクターもかわいい良くて“すがい”
そんなに素材を前面にあしらうなくてももっと関係ない
感じで“すがい”な～と思ふうの“すがい”と“うご”(ようが)…

小山 健

著書に「お父さんクエスト」「生理ちゃん」がある。

マンガ家

7年後の大阪に万博が必要なのか、そうでないのか。

行政任せで特に応援も反対もしていなかった私たちですが、

今回「はじめて万博」をつくることで、

この冊子を作り終え、万博のことを知った今でも、「どうしても大阪で万博を開催してほしい!」とは、思っていません。

詳細な予算や跡地活用の議論は誘致が決まってから、という点には少し不安を覚えますし、東京五輪のエンブレムや競技場コンペ騒動のような、

クリエイティブ業界への影響も気になります。

それでも、もし 2025年の万博を大阪で開催するのなら、

日本、世界をより 良くできる、胸が踊る万博であってほしい。

その
願いだけは、たしかです。

無関心でいるのも、傍観するのも、指をくわえているのも。

思っているだけで動かないのは、自分たちらしくないと思います。

なぜなら私たちは、アイデアとデザインの力を信じているから。
たとえ迷いながらでも、より良くするために、なにかをつくり続けたいと思います。

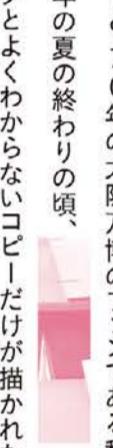
BYTHREE inc.

株式会社人間

「口」ゴマーケとよくわからないコピーだけが描かれたポスター」が貼られているだけで、まったく盛り上がっておらず、知り合いに聞いてみても誰も誘致活動のことなんか知らないという状態だったのです。その頃から、のままじゃ大阪に万博が来ないんじやないかという焦りと、

2017年の夏の終わりの頃、

2025年の万博の誘致活動は私たちから見て



— 制作 —

クリエイティブ
ディレクション 吉田 貴紀 (BYTHREE inc.)

編 集 山根 シボル (株式会社人間)
花岡 洋一 (株式会社人間)
栗原 里菜 (BYTHREE inc.)

編集補佐 ロマン

ライティング 大村 尚也 (BYTHREE inc.)
岡澤 修平 (株式会社Rockaku) / P.06-07

デザイン 長谷川 明義 (BYTHREE inc.)
喜田 周作 (BYTHREE inc.)
松尾 聰 (株式会社人間)

撮 影 栗原 康 (triplet studio inc.) / 表紙・P.02-03
増田 広大 (SAFARI Creative Studio) / P.10-11
澤尾 康博 / P.08-09
なかむらしんたろう / P.06-07

撮影アシスタント 津島 修平 / 表紙・P.02-03

ヘアメイク 日野 泰治

スタイリング 浅野 正雄 (GENESIS)
南 和佳 (GENESIS)

イラストレーション SHUN NAKAO / P.04-05

プリンティングディレクション 矢田 幸史 (有限会社サンクタール)

WEB制作 加藤 亮平 (TRACE)
後藤 忠士 (TRACE)

制作アシスタント 西山 美穂
福岡 里依子 (株式会社人間)

協 力 2025日本万国博覧会誘致委員会

参加クリエイター アシタノシカク
BYTHREE inc.
Yotta 木崎公隆 + 酒谷星子
株式会社人間
小山 健

— 制作協力 —

表紙モデル 田中 真琴

ライティング 竹内 厚 / P.06-07
SAGOJO / 外国人取材

撮 影 あいざわけっこ / P.06-07
バンリ / P.06-07

— 発 行 —

BYTHREE inc.

株式会社人間

— 印 刷 —

サンクタール

